



子ども安全のしおり

保護者・ボランティア編

犯罪の起きにくい社会づくり研究チーム

はじめに

岡山県警察では、「重層的な防犯ネットワークの整備」と「社会の規範意識の向上と絆の強化」を柱とする「犯罪の起きにくい社会づくり」を推進していく上でのシンクタンクとして、平成23年4月に産学官民連携による「犯罪の起きにくい社会づくり研究チーム」を立ち上げ、毎年度テーマを選定して研究会を開催してきました。

平成27年度は、前年に県内で発生した女児連れ去り事件を始め、全国的にも子供が被害者となる凶悪事件等が後を絶たないことから、子供の安全を確保するため「子供安全対策～子供見守り活動の推進～」をテーマに研究を進めてきました。

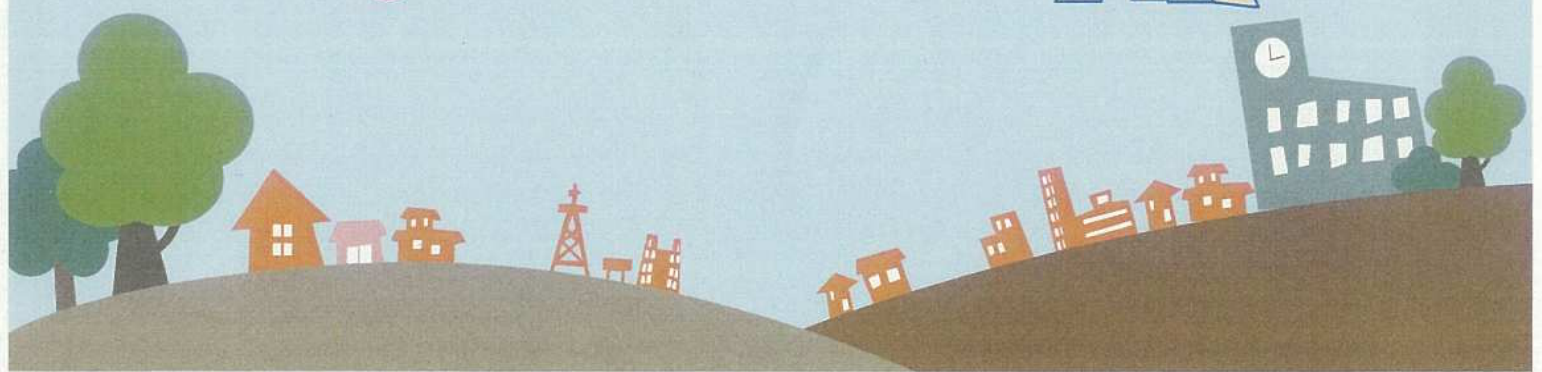
その結果、地域全体で子供を見守ること、子供自らが犯罪から回避する能力を身につけることが大切であるとの結論に至り、「子供自身が学ぶべきこと」、「保護者と子供と一緒に学んでもらいたいこと」、「保護者・防犯ボランティアが子供見守り活動を行う上でのポイント」などをまとめたマニュアルを作成しました。

このマニュアルを活用していただき、子供が安全で安心して過ごせる地域づくりのための一助となれば幸いです。

平成27年度
犯罪の起きにくい社会づくり研究チーム

目次

1. 子どもと約束をしましょう! 1P
2. 子どもと一緒に勉強しましょう! 2P
3. 見守り活動について 4P
4. 実際にこんなことがあったら 5P



1. 子どもと約束をしましょう!

● あいさつをする

あいさつは、地域の人とコミュニケーションを深めていく上でとても大切なことです。子どもにあいさつをすることの大切さを教え、また自らも積極的にあいさつをして子どもの模範となりましょう。

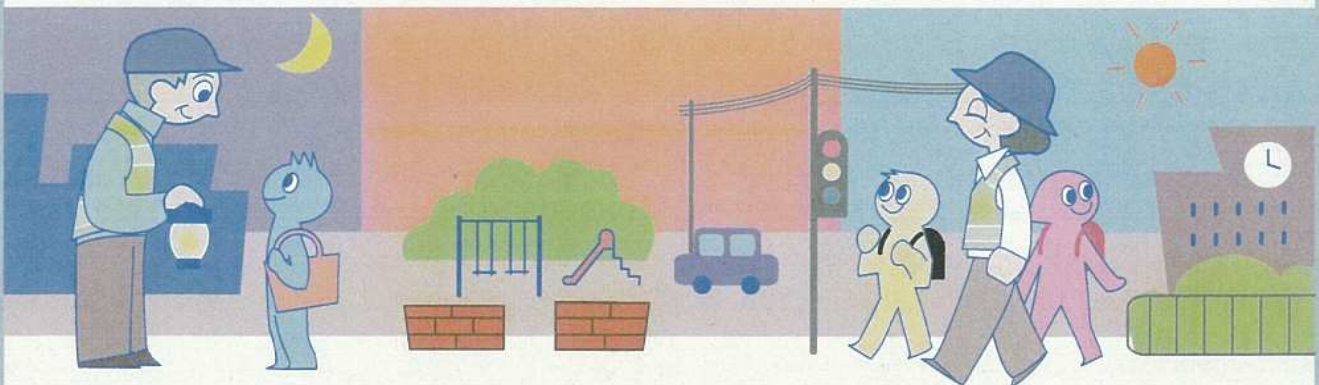
そして、地域の人との絆を深め、地域ぐるみで子どもを見守りましょう。



● ひとりにさせない

- ひとりになると、誰の目も届かない時間、つまり、危険な時間ができてしまいます。登下校の際や戸外で遊ぶ際などには、ひとりにならず、友達と一緒に行動したり、たくさんのお友達のいるところで遊んだりするように教えましょう。

- どうしても、ひとりで行動しなければならないようなことがあったら、人通りの多い道を選んで通る、周囲の状況を確認しながら歩く、防犯ブザーを持ち歩くなど、自己防衛に努めることを教えましょう。



2. 子どもと一緒に勉強しましょう！

● 不審者とは

不審者とは、挙動の不審な者をいい、子どもに教えるときには、じっと見つめてくる者、あとをついてくる者、しつこく誘ってくる者など、具体例を示して教えましょう。



● 防犯ブザー・声出しの練習をしましょう

もしものときのために、子どもと一緒に防犯ブザーの使い方や大きな声を出す練習をしましょう。

また、防犯ブザーの点検（電池の残量、ブザーの作動状況、取付位置など）を忘れないようにしましょう。



● 安全な距離を覚えましょう

知らない人に触れられないように、子どもと一緒にシミュレーションをして安全な距離を覚えましょう。この時、大人が実際に手を伸ばしてやると、子どもはより分かりやすいでしょう。



● 「イカのおすし」を覚えましょう

子どもと一緒に「イカのおすし」を復唱し、その意味を理解させ、不審者の対応方法を教えましょう。



「イカのおすし」をおぼえよう！

「イカ」

ついてイカない！
知らない人について
「イカ」ない



「の」

のらない！
知らない人の
車に「の」らない



● 逃げ込める場所や危険な場所を確認しましょう

子どもと一緒に通学路を歩いて、いざという時のために逃げ込める場所（子ども110番の家、コンビニエンスストア、病院など）や、危険な場所（周りから見えにくい公園、空き家、人通りがほとんどない道、公衆トイレなど）を確認しましょう。

これを基にして、危険な場所には近付かない、ひとりでは行かないなど、子どもと約束をしましょう。

また、日常生活の中で危険となり得る場所へ行ったときに、「あなたならどうするの？」と尋ねてみてから正しい対応方法を教える方が、子どもの防犯に対する意識が高まります。



● 想定訓練をしましょう

もしもの時のために、大人が不審者役となって子どもに声を掛け、子どもがそれに対応してみる、といった想定訓練を繰り返し行いましょう。

● 日頃からコミュニケーションを取りましょう

子どもが何でも話せるよう、日頃のコミュニケーションを大切にしましょう。危険な目にあったときには、必ず「今日はこんなことがあったよ。」と、家の人や学校の先生に話すように指導しましょう。



また、子どもの様子が普段と違うと感じたら、怒らずにゆっくりと話を聞いてあげましょう。



おお声をだす!
危ないと思ったら、「お」おきな声を出す



すぐにげる!
その場所から「す」ぐ逃げる



しらせる!
すぐ大人の人に「し」らせる



3. 見守り活動について

● 子どもの見守り活動とは

子どもが戸外で活動している時間帯（登下校時や放課後など）に通学路、公園などで子どもの安全を見守ることをいいます。



● 子どもの見守り活動の種類

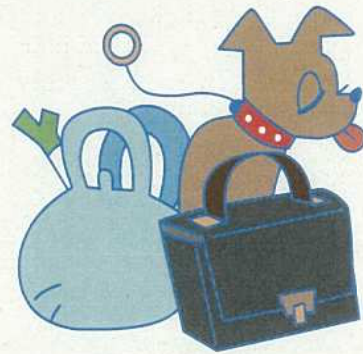
(例)

- 学校・幼稚園・保育園周辺での見守り
- 通学路の見守り
- 子どもの遊び場等の見守り
- 夜間の見守り



● 活動方法

活動方法はとても簡単です。散歩、買い物、仕事などのついでに、みなさんの都合のよい時間帯に、通学路や公園などにとどまったり、通行したりするなどして子ども達の安全を見守ることができます。



● 活動のポイント

- “できる人が できる時に できること”をしましょう!
- 目立つ服装で活動しましょう!
- 人通りの少ない所でも活動しましょう!
- 危険なことはせず、すぐに警察に通報しましょう!
- できるだけ複数で活動しましょう!



4. 実際にこんなことがあったら…

● 子どもが助けを求めてきたら

まずは子どもを落ち着かせて、「いつ、どこで、何があったのか」を聞き出しましょう。

子どもから「不審者を見た」などと聞いた場合には、すぐに警察に連絡しましょう（緊急時には110番通報して下さい。）。



● 悲鳴や防犯ブザーの音が聞こえてきたら

まず状況を確認しましょう。

危険な状況であれば、ご自身や子どもの安全を確保した上で、110番通報しましょう。

● 不審者（車）を発見したら

- 不審者かなと思ったら、声掛け（あいさつ程度で構いません）をしましょう。
- 不審者（車）の特徴（人相・着衣、ナンバープレートなど）を警察に通報しましょう。
- 緊急の場合には必ず110番通報しましょう。



● 子どもから「不審者がいた」と聞いたら

「いつ、どこで、どんな不審者がいたのか」などを聞いて警察へ通報しましょう。

● こんな子どもを見かけたら

ひとりで遊んでいる子どもや日暮れ時に遊んでいる子どもを見かけたら、ひと声掛けてあげましょう。





「ももくん・ももかちゃん安心メール」のご案内

岡山県警察では、子供や女性の安全対策等に役立てていただくため、皆さんの携帯電話へ「不審者情報」等のメールを配信しています。ぜひ「ももくん・ももかちゃん安心メール」を登録し、ご活用ください。

【配信する情報】

From: 岡山県警察



子供被害不審者情報

18歳未満（高校生のみ18歳を含む）の子供に対する「声かけ」、「つきまとい」、「わいせつ行為」等の不審者情報



子供防犯情報

刃物等の凶器を所持した強盗事件や刃物を所持した者の目撃情報など、通学路等における子供の安全対策に必要な情報



女性被害不審者情報

18歳以上（高校生のみ18歳を除く）の女性に対する「声かけ」、「つきまとい」、「わいせつ行為」等の不審者情報



女性防犯情報

女性対象の犯罪や不審者に対する防犯指導など、女性の安全対策に必要な情報



一般防犯情報

特殊詐欺や強盗、連続ひったくり事件の発生に関する情報など、一般の安全対策に必要な情報



交通安全情報

交通事故等の交通安全情報



【登録の方法】

momo@pref.okayama.jp に空メールを送信



- ◇ 自動返信メールに従って必要項目（性別、年代など）にチェックすれば登録完了！
- ◇ 登録料、配信料は無料ですが、接続などに必要な費用については、自己負担となります。
- ◇ メールを受信制限をされている方は「@pref.okayama.jp」からのメール受信を許可してください。（受信制限の解除方法はお使いの携帯電話会社へお問い合わせください）

子ども安全のしおり ～保護者・ボランティア編～

【作成】岡山県警察本部生活安全全部生活安全企画課

【作成協力】【平成27年度犯罪の起きにくい社会づくり研究チーム】

岡山県立大学 デザイン学部 村木研究室、セコム株式会社、旭操セーフティーズ（青色防犯パトロール隊）、

津高防犯パトロール隊（青色防犯パトロール隊）、岡山県PTA連合会、岡山県教育庁保健体育課、

岡山県県民生活部くらし安全安心課、岡山市市民生活局生活安全課

【デザイン】川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科 谷 陽里・岩藤百香

【発行日】令和3年5月



OKAYAMA POLICE